

















※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名(七笑酒造株式会社)

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30様式改定】

カテゴリー	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
																								
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			性別、年齢等で差別をしない体制、環境作り（教育、風通しの良い職場環境）を経営者が主体となって進めている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3									16.1 16.2 16.7
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			ハラスメント禁止の体制、環境作りを構築している。 [予定]就業規則に明記を検討する。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8											16.1
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			社内各部署で時間外労働の管理や制御を行い、長時間労働防止を行っている。 休日が取りやすいように多能工化を進めている								8.5 8.8											
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			現在外国人労働者は雇用していないが、採用した際には差別、人権侵害は発生させない。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3									
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			社内での安全会議及び朝礼等に事故事例などを取り上げ、社員全員に周知し、事故防止対策を常に検討している。			3					8											
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			職場内の人間関係が円滑になるように定期的にミーティングを実施している。 担当の常務（女性）に相談しやすい環境を作っている。			3																
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			定年後の再雇用制度を設けている。（年齢の上限制限は設けていない） 全体の3割女性を採用している。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3									
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			従業員に合わせた安全に関する自社での教育や、社外教育訓練機関等も活用して人材育成に取り組んでいる。フォークリフトなどの資格取得				4	5.5			8	9										
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			法令遵守を基本として経営者が主体となり、同一労働同一賃金等の趣旨に沿った社内体制の整備に取り組んでいる。					5.5			8.5		10.2 10.3									
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			年に一度健康診断をし健康指導を行い従業員の健康管理に気を遣っている。			3					8											
環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			廃棄物処理法に基づき廃棄物の分別処理、マニフェストの適正管理を行っている。											11.6	12		14.1					
	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			毎月の電気、重油、水道等の使用量の把握と削減活動を実施している。							7.3						13						
	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			社内の照明のLED化を進めており、省エネに取り組んでいる。営業車に燃費効率の良いエコカーを導入している。							7.2 7.3						12.4	13.3					
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本		【非該当】	有害化学物質は使用していない。			3.9			6.3						11.6	12.4						

カテゴリー	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																															
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17															
環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			排水処理施設は常に更新し、法令(基準値)を遵守している。 環境に配慮した資材を使用することで生物多様性の保全に配慮している。														15																		
	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			1.8リットルの瓶はリサイクル瓶を使用している。 コピーの裏紙の利用、再生紙を活用している。														13	14.1																	
	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ				洗剤の瓶の使用により、瓶の洗浄に使用する水は最小限にとどめている。従業員に節水を呼びかけている。						6.4	6.6																								
	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ			【予定】	費用対効果を考慮し、取得の有無を検討していく。							3.9								12	13.3	14	15													
	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ				長野県SDGs推進企業登録制度に参加し取り組んでいく。【予定】今後ホームページ上で開示してゆくことを検討している。															12.6																
	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ				社内の照明のLED化を進めており、省エネに取り組んでいる。 【予定】太陽光発電システムの導入を検討していく																13															
	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ				資材に関しては、可能な限り環境に配慮したものを選定して使用している。 農家から米を気候変動に関わらず全量買取をしている。コピー用紙の再生紙の購入を行なっている。																12.2	13	14	15												
公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本				汚職、贈収賄防止を社内周知徹底している。																		16	16.5												
	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本				経営者自らが積極的に理解し、その方針に基づき社員全員に周知している。																			16												
	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本				意匠、商標権の知的財産権を積極的に取得をしている。業務の中で知的財産の保護の大切さについて従業員に周知している。								8.2	8.3	9																					
	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本				個人情報保護の大切さを従業員に周知している。 個人情報は所定の場所に保管している。 マイナンバーの適切な管理をしている。																			16												
	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ				紛争鉱物は取り扱っていない。今後も取り扱わない方針。																				16											
	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ				常取引先との情報共有を行い人権侵害の防止、環境への配慮ハラスメント等の意識を保持している。									5				8		10					12	13	14	15	16	17						
【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5~追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本			【予定】	パートナーシップ構築宣言を作成予定																					3				8	9	10					17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）

・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクスセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

○ この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成

○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、**赤字**で番号を記載

○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載

※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定